

浜松から世界の舞台へ。切符を手に入れたコンテストに迫る

第9回浜松国際ピアノコンクールの優勝者アレクサンダー・ガジェヴ氏と、第7回の優勝者チョ・ソンジン氏にインタビュー。

episode 1
Hamamatsu International Piano Competition



Alexander GADJIEV

アレクサンダー・ガジェヴ
Profile
出身：イタリア・スロベニア／誕生：1994年／
学歴：ザルツブルク・モーツァルテウム大学／先生：P.ギリロフ

浜松国際ピアノコンクールは、人生で最もエキサイティングな記憶

第9回浜松国際ピアノコンクールはいかがでしたか？

浜松という都市や日本文化について大変興味がありました。アジア圏を訪れたのは初めてで、この経験はかけがえのないものになりました。コンクール組織の行き届いたサポートのおかげで終始ナーバスになることもなく、演奏だけに集中し、楽しむことができました。今でもエキサイティングな思い出として心に残っています。

浜松国際ピアノコンクールのための練習はどのくらい前から始めたのですか？

随分前から取り組んだ作品もあれば、コンテストの前に短期集中で練習したものもあります。準備期間として1年くらいはかけたかな。1日2〜3時間練習するときもあれば、7〜8時間のときもあります。練習中にうまくいっていると感じて練習を続けるときもあれば、音楽のことを考えながら散歩することもありました。私はすべての曲の精神的な部分を自分

優勝したときのお気持ちは？

人生で一度も経験したことのない、圧倒的な喜びを感じました。素晴らしい審査員や浜松のすべての人々によって評価されたのです。9月のガラコンサートで浜松に行くのをうれしく思います。
このコンクールで素敵な出会いはありましたか？
すばらしいピアニストであり音楽家である、三浦謙司さんと出会いました。もともと共通の友人がい

史上最年少で優勝。世界最高峰のシヨパンコンクールでも頂点に

浜松での思い出を教えてください。

浜松は日本で初めて訪れた場所であり、アカデミーやコンクールにも参加した思い出の地です。私にとって、とても縁の深い特別な街ですよ。ホールの音響もすばらしく、浜松ではいつも幸せな気持ちで演奏してきました。また、浜松に来るコンテストには、ぜひ美味しいなぎを食べてみてほしいですね。

浜松国際ピアノコンクールに出場した時と、シヨパンコンクールに出場した時では、雰囲気や臨む気持ちなどに、違いがありましたか？

浜松国際ピアノコンクールに出場した時はまだ15歳。コンクールというものがどんなものか、何もわかっていなかった。ある意味気が楽でした。大人になって受けたシヨパンコンクールの方が、断然緊張しましたね。浜松はホールや周辺施設、練習環境もすばらしく、ボランティアの皆さんも大変親切で、コンクール期間中はとても快適に過ごすことができました。

優勝されてから、環境の変化や心理的な変化はありましたか？

浜松での優勝を機に日本で知られるようになりましたが、その6年後のシヨパンコンクールで優勝したことで圧倒的に忙しくなりました。8年前は韓国で暮らしていました。その後フランスに留学し、生活環境は大きく変わりました。

世界各国のホールで演奏されていますが、ピアノを選ぶ時は何を基準に選びますか？

ホールにおけるピアノ選びは、実はすごく簡単です。というのも、自分にとってすばらしいピアノが2台あるということは極めて珍しい。

ましたが、浜松で初めて彼に会いました。とても気が合い、すぐに仲良くなり一緒に食事にも行きました。浜松の食べ物は何れもおいしいです。私も三浦さんもベルリンに住んでいて、同じ先生のもと一緒に勉強をしているので、日常的に会っています。浜松国際ピアノコンクールで、彼に出会えたことは本当にうれしいことです。彼の成功を心から願っています。

数あるコンクールの中で、浜松国際ピアノコンクールにどう感じますか？

すばらしい組織だと思います。運営の正確さだけでなく、このイベントに携わる多くの人が、特にボランティアの方の深い愛情と努力が、このコンクールを特別なものにしていて感じます。浜松国際ピアノコンクールは、僕の人生において、最もエキサイティングで美しい記憶です。そしていつでも僕の心に焼き付いています。夢を叶えてくれてありがとう！



いので。カーネギーホールではかなりタイプの違うピアノが2台あったので難しかったです。そんな時は、ホールの響きによって選び方を変えています。大きいホールであれば音の出るほうを、小さいホールであれば繊細な音の出るピアノを選びます。もともと1台しかなく、選ぶことができないホールも多いので、そういう時は運命だと思いい、そのピアノと仲良くするしかないですね。

10年前に思い描いていた未来と、現在の自分を比べて、また10年後ご自身はどんなピアニストになっていると思いますか？

10年前は中学生で、ピアニストとしてのキャリアをどのように積んでいくか、まだよくわかっていませんでした。10年後も今のよう演奏し続けていられたらうれしいです。



Cho Seong-Jin

Profile
出身：大韓民国／誕生：1994年／
学歴：パリ国立高等音楽・舞踊学校／先生：ミシェル・ペロフ



※1 第10回を記念し、これまでの優勝者6名が集結し、アクティシティ浜松で開催されたコンサート
※2 三浦謙司さんはガジェヴ氏と同様、第9回コンクールに出場。奨励賞を受賞した日本人ピアニスト